



「人は心豊かでなくてはいけない。趣味は大切です!」堀川ミエ子さんは、おだがいさまセンターで月一回行われる絵手紙教室で楽しそうに話されました。

現在、東京中野区の白鷺の娘さんのお宅に住み、月一回息子さんご夫妻がお住まいの郡山に来て、おだがいさまセンターの絵手紙教室に参加されています。絵手紙は富岡にいる頃から14年間続けられていて、絵手紙の仲間は「何でも気がねなく話せる最高の友」と、趣味を通してつながる仲間がいることを幸せに思っているとのこと。絵手紙だけではなく、短歌もずっと続けておられ、東京に行っても新聞に投稿して何度も掲載されています。

中野区の白鷺住宅でも「きたらいいべし」というサロンが週一回開かれるのでそこに参加しています。中野区では福祉会館で行われるフラダンスや体操にも参加し、心豊かな生活を送ることを大切にされています。

80歳をすぎてからの教養は「今日(教)、用(養)事をつくること」。用事を作り外出することで、身なりを気にかけたり、出かける経路を考えたり…1日がとても活き活きしてきます。

富岡の皆さんへ一言を…とお願いすると、なつかしそうな表情で話されました。「体に気をつけて帰れる日までがんばりましょう。また長寿大学や老人会で会いましょう。」「中野区の方々にはとてもお世話になっています。」と現在の生活に感謝する堀川さんですが、「やはり幸せのものさしふるさとあります…」と話された一言、心にしました。



おらほの自治会長

このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。

いわき泉玉露応急仮設住宅自治会長 川上 延男さん



富岡では王塚に住んでいた川上さんは、釣りが大好きで、富岡にいた頃は季節によって海や川に出かけ楽しんでおられたとのことでした。時には川で釣りに夢中になっていて、ふと視線を感じ、その先を見るとイノシシと目があったことがありました。

川上さんいわく、しゃべる機会を多く持つことが、少しでも住民

のイライラを減らし、それが一人ひとりの元気につながると話して下さいました。おっしゃっていた通り、泉玉露ではしゃべる時間(=ふれ合う時間)を多く持てるよう、色々な催事が行われています。協力して下さる方が沢山いて、助けてもらっているからできていると、みなさんに感謝していました。

川上さんから皆さんにメッセージをお願いすると、「今は親睦と健康が一番、毎日のように様々な交流の場を行っているので、いつも来てください」と笑顔で話してくださいました。

みんなの広場

このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品などの作品を紹介します♪



いわき四倉サロンの壁に飾ってある「はなさかじいさん」の壁画を作成したのは、富岡町でお菓子屋さんをしていた鳴原弘子さん。

この作品は、震災のあった2011年夜ノ森桜祭りで「桜にまつわる絵手紙展」を開催予定で製作したものでしたが、震災のため実現できずその後、四倉サロンの開所が決まり「みんなに見てもらえたら…」ということで四倉サロンに持ってきていただきました。

いってやっぺみでやっぺ
お知らせコーナー

1月下旬
2月中旬

・喫茶つつじ

おだがいさまセンター(毎回午前10時~12時)
1月24日、26日、31日 2月2日、7日、9日
南一丁目応急仮設集会所(富岡側)(毎回午前10時~午後1時)
1月21日、22日、26日、28日、29日 2月2日、4日、5日、9日、11日、12日

いわき平交流サロン催事

●コットンドール作り

日 時 1月25日(金) 午後1時~午後3時
参 加 料 300円(材料費)
申 込 み 申込み制(下記問い合わせ先へ)

●キムチ作り

日 時 1月31日(木) 午後1時30分から
参 加 料 無料
申 込 み 先着15名
備 考 エプロンと三角巾持参で!
問 合 せ TEL:050-3608-2864

いわき四倉交流サロン催事

●絵手紙

日 時 1月21日(月) 午前10時から
参 加 料 若干材料費が掛かります
申 込 み 申込み制(下記問い合わせ先へ)

●団子さし

日 時 1月31日(木) 午前10時から
参 加 料 若干材料費が掛かります
申 込 み 申込み制(下記問い合わせ先へ)
問 合 せ TEL:0246-38-4355

富岡町生活復興支援おだがいさまセンター

(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)

電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334

制作 バズ・クリエイターズ ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama



発行 富岡町生活復興支援
おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)
連絡先 024-935-3332

みてやっぺ!

「福島の子どもたちへ元気をお届け!in郡山」開催



12月15日(土)におだがいさまセンターにて、「福島の子どもたちへ元気をお届け!in郡山」と題しまして、宇宙航空研究開発機構(JAXA)・角田宇宙センターの方々がいらっしゃって、講演会とイベントを開催しました。

講演では、角田宇宙センターの特任担当役の豊川光雄さんによる「はやぶさ君感動をありがとう!~小惑星探査機「はやぶさ」の奇跡の帰還~」と題して、7年の時を経て帰ってきたのはやぶさの話を教えていただきました。

当日は、子どもたちだけでなく、大人の方も多く訪れ、豊川さんの話に興味津々になって聞き入っていました。

イベントでは、大きく5つのブース(①宇宙服を着てみよう!!

②かさ袋ロケットを作つてとばそう!!③スチロール皿を作つてとばそう!!④手回し発電機メカを動かそう!!⑤なぜ?なぜ?おもしろ科学実験)が並び、中でもテレビ等で見たことがある方もいらっしゃるかと思いますがー40度の液体窒素に入ると数十秒で凍つて手でつかむと粉々になったり、ゴム風船を入れると小さくしぶみ、取り出すと元のように膨らむといった実験を実際に体験できるブースは、子どもならず大人にも好評で、多くの方が見入っていました。奥羽大学からのボランティアの方のご協力もあり、終始どのブースも賑わっていました。

オーストラリア、ニュージーランドの大学生100名に
富岡の「あの日」「今日」「明日」を講演

12月13日会津若松市内で、福島観光復興センター主催で行われたオーストラリア・ニュージーランドの大学生に「震災とその復興支援の現状」をテーマに、おだがいさまセンターアドバイザーの青木淑子が講演をしました。ニュージーランド(オークランド市)は富岡町と友好都市でロータリークラブが毎年中高生の交換留学を行っていましたし、オーストラリアは平成18年から富岡高校国際コミュニケーションコースの生徒が3名、一年間の留学を行っていました。「縁(えにし)」を感じながら、富岡の現状、福島の現状を語り終えると、涙を浮かべて「応援しています。卒業したらまた福島にきて何か力になりたい。」「国に帰ってこの話を伝えます」と日々に話す学生たちの姿がありました。

時間が経つにつれ人々の心から忘れられていく「震災・原発事故の現実」「復興のために何が必要か」という支援活動への理解。それらを深めるためにも、被災地の「あの日」と「現在」と「明日」を語る「かたりべ」の必要性を強く感じ、おだがいさまセンターでは町民の皆さんやセンタースタッフが「かたりべ」として活動できる機会と研修の場をこれからも作っていこうと考えています。

熱心に聞き入る大学生



第6回 生涯学習講座

「親子でつくるクリスマスメニュー」

12月16日(日)県生涯学習課主催の第6回生涯学習講座が、おだがいさまセンターで開かれました。今回はクリスマスメニューを親子で作ろうというテーマで、10組20名の親子・友人等の皆さん参加しました。

木村 禮子(郡山市在住、栄養士)先生のご招待で、アイディアいっぱいの美しくおいしいクリスマスのごちそう(星空チャーハン、ポテトサラダの雪だるま、クリームスープ、苺のサンタのクリスマスケーキ)ができあがり歓声があがりました。

なお、来年1月からはいわきのサロンでも生涯学習講座を開きますのでぜひご参加下さい。



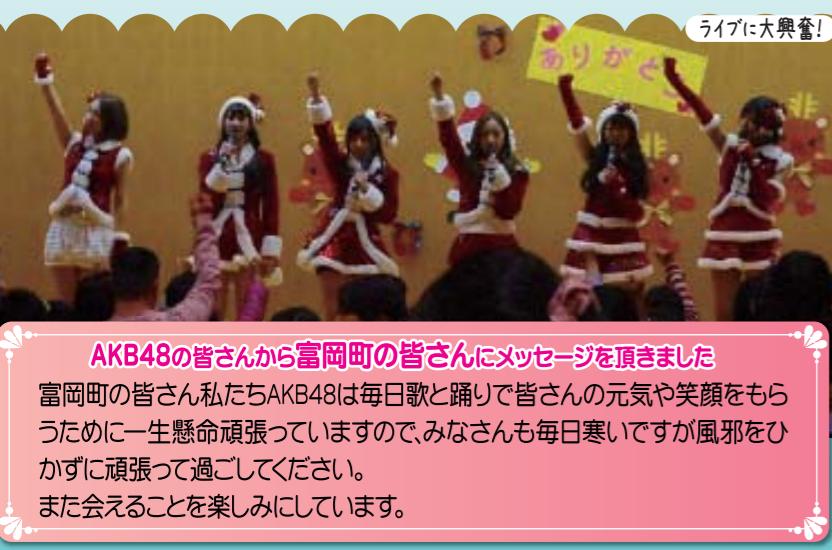
さすが手際が良い(県北の様子)

笑顔でいっぱい(大玉の様子)

味の素料理教室(県北・大玉)

子どもたちに AKB48ミニライブ

「AKB48が郡山に来ることになりました。富岡町・川内村の子どもたちを200名程招待したい。」そんな連絡が突然入ったのは、開催日の3日ほど前でした。教育委員会に相談し、突然の話で開催まで時間がないことから富岡町の三春校の皆さんにお知らせを限定させていただきました。



AKB48の皆さんから富岡町の皆さんにメッセージを頂きました

富岡町の皆さん私たちAKB48は毎日歌と踊りで皆さんの元気や笑顔をもうために一生懸命頑張っていますので、みなさんも毎日寒いですが風邪をひかずに頑張って過ごしてください。

また会えることを楽しみにしています。

FM便り

パーソナリティ紹介～今泉静香さん～

おととし、ビッグパレット避難所の「おだがいさまFM」のころからお手伝いしていた今泉さんが、昨年12月よりおだがいさまわやかモーニング月曜日、朝の担当になりました。フリーのアナウンサーとしてFCTのゴジでれ中のリポーターとしても活躍されています。

私は生まれも育ちも郡山なので、地元郡山のいいところや情報をたくさん発信していくたいし、富岡町の皆さんともっともっと仲良くなりたいです。これからも宜しくお願ひします。

メッセージ受付中!

郵便 〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛
FAX 024-935-3334
メール 下記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください
「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

おだがいさま工房便り



12月12日新潟県長岡市から、地域に住む女性を応援する団体、プロジェクト結のスタッフと、長岡市川口・小国・太田地域に住む元気なお母さん方合わせて13名が工房を視察し、その後交流会を行いました。富岡のえびすこ市場のおいしいお弁当をいただきながら、長岡の郷土料理のおみやげも加わり、中越地震からの8年間と、富岡の今の心境を互いに語り合いました。研修生たちからは「次は新潟に行くからね!」と再会を約束しました。

おだがいさまファーム通信

1年間、皆さんに感謝!!
そして新たに“畠隊”大募集!

昨年4月末の説明会から始まった畠隊も、田んぼを畠につくりかえるところからのスタートのため、土地の水はけの悪さに悩まされながらも、なんとか開園することができました。メンバー同士の交流会や芋煮会、そしてえびす講市での野菜販売などの活動をしてきました。畠隊のみなさんご苦労様でした。そして、ありがとうございました。この一年を通して、たくさんの皆さんにご協力をいただき、私たちが活動できていること、本当に感謝しています。今年も、おだがいさまファーム・畠隊をどうぞよろしくお願い致します。

おだがいさまファームでは今年も「畠隊」メンバーを募集します。私たち畠隊と一緒に野菜(花)づくりをしてみませんか!!ご連絡お待ちしています。

問い合わせ ♥ おだがいさまセンター 024-935-3332 (遠藤・松本・梅津)



春に植え付けた野菜を見事に!!

交流が深まった芋煮会



埼玉県狭山市クリスマスプレゼント

12月23日(日)に富田応急仮設住宅で埼玉県狭山市社会福祉協議会のみなさんによるクリスマスプレゼント配布がありました。サンタさんの突然の訪問に初めは皆さん驚かれていましたが、プレゼントとして心のこもったメッセージカードと手作りクッキーが贈られ皆さん大変喜んでいました。中には「この歳になってプレゼントを貰えるなんて…!」と感激のあまり涙ぐむ人も。

埼玉県の狭山市から来たと聞いて「遠いところからありがとう」という声が多く、一足早いクリスマスプレゼントで心も温まったのではないでしようか。

エクスプレッションD.S.(ダンシングスクール) 発表会!

震災後3度目となるエクスプレッションD.S.富岡小松教室の合宿『笑顔プロジェクト』がいわき市で12月22・23日、2日間行われました。

23日には好間応急仮設住宅と泉玉露応急仮設住宅への富岡小松教室Jrメンバーによるダンスプレゼント訪問。『願い』『想い』『希望』を込めたダンス四曲を披露。メンバーのダンスに合わせ軽運動を取り入れた動きを、皆さんと楽しむと自然と笑顔の輪が広がりました。

また全国でのボランティア活動を行っている手芸『チクタクハート』代表メンバーも賛同。Jrメンバーと皆さん一緒にクリスマスリース製作を楽しみました。

二日間という短い再会ではありましたが、子どもたちが輝き・自信・達成感を得ることが出来た内容の濃いとても幸せな再会二日間の合宿となりました。

第7回「お茶っこ会」クリスマス交流会in静岡

12月16日(日)静岡県静岡市社会福祉会館にて、静岡に避難している方を対象にした交流サロンが開催されました。

とみおか子ども未来ネットワークが主催し、静岡市社会福祉協議会等にご協力いただき、今回が7回目となった交流サロンには総勢40名程の方が集まり、ネイルやブリザーブドフラワー、ミニクリスマスツリーづくり等を楽しみました。地元支援者やとみおか子ども未来ネットワークの運営スタッフが毎回参加しているので、参加者の皆さんは、相双地区の「あの場所」の話で盛り上がり、「懐かしい地名、浜通りの語り口調で話ができる、うれしかった。」と話していました。

お近くの皆さんも次回は是非、足を運んでみてくださいね。



ミニクリスマスツリー製作中

大玉で餅つき開催



12月25日(火)に安達太良応急仮設住宅で餅つきが行われました。寒い中ではありましたが、当日は天気もよく集会所の前で杵臼を用いてつく餅は格別でした。ついた餅はその場で美味しいご馳走になりましたが、新しい年を迎えるにあたり、仮設内の各世帯にお供え餅(鏡餅)をと主婦の方々が中心となって、つきたての餅を慣れた手つきで丸くしていく姿はとても手際が良く圧倒されるものがありました。多くの方が訪れ、皆さん笑顔あふれる楽しい餅つきとなりました。